



創刊号 毎月一回発行 発行所 役場 合川町 編集人 合川町役場 総務課 広報係

水魔に襲われたわが町

当局復旧に東奔西走

六月二十四、五の両日にわたって当地方を襲った豪雨は三〇〇ミリ近く、近來にない雨量といわれ、町内各所に水魔の被害が出た。町では、この水害による被害額を約二億四千万円と発表した。...

水害発生と同時に町では、急務案を提出し、当「合川町水害対策本部」を協議会一丸となつて復旧に役場内に設け、復旧にのり全力をあげることにした。...

今春竣功したばかりの果道河川橋もその三分の二程が壊れた。また、流し、橋の下流沿岸の田地は完膚なきまでに流されていく。町内各所の堤防は水防団必死の活動にもかかわらず、至るところで欠陥し、十八カ所約千二百米に及んでいる。...

Table with 2 columns: Location (e.g., 東地区, 西地区) and Damage (e.g., 浸水, 埋没) with corresponding measurements.

Table with 2 columns: Location (e.g., 西地区, 南地区) and Damage (e.g., 浸水, 埋没) with corresponding measurements.

Table titled '町の子算 (単位円)' showing income and expenditure items like '歳入総額', '町民税', '国庫支出金', etc.

本年度予算を原案可決

第四回臨時町会終る

第四回合川町臨時町会は去る六月二十六日西小学校に招集された。二十四日以来の豪雨による洪水のため本町の交通状態は寸断され、定刻開会には危ぶまれていたが午後一時に開会され議案十一件の審議に入った。...

米穀賣渡推進協議会發足

今年産米から新しく適用される「米予約売渡制度」については広報第一号に述べたとおりであるが、この制度に対処するためには、合川町米穀賣渡推進協議会が設立され、同制度を円滑に活用するため万全を期するようになった。...

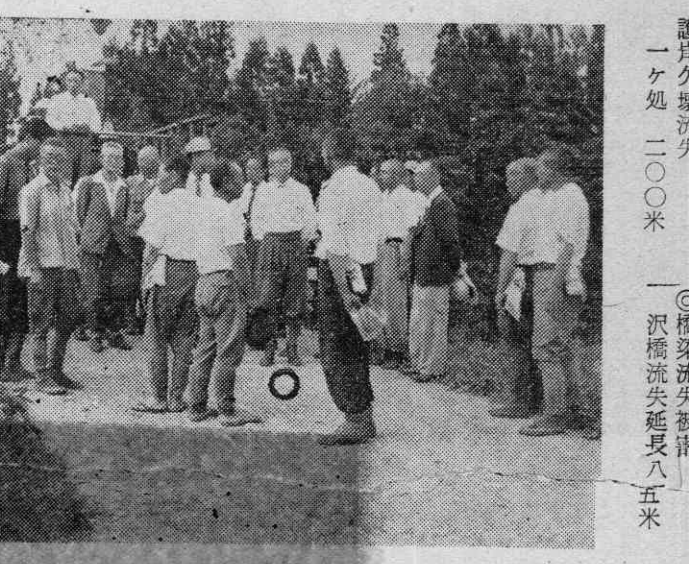
米穀賣渡推進協議会發足

町長 出納立会人の検査は考えているが、特別調査委員については考えている。町長 出納立会人の検査は考えているが、特別調査委員については考えている。...

最大限の援助を

小畑知事、水害状況を視察

小畑秋田県知事は去る十日に本町南地区(旧下小阿仁)日、本町の水害状況を視察のため来町した。...



護岸欠壊流失 一ヶ処 二〇〇米 橋梁流失被害 沢橋流失延長八五米

米穀賣渡推進協議会發足

町長 出納立会人の検査は考えているが、特別調査委員については考えている。町長 出納立会人の検査は考えているが、特別調査委員については考えている。...

米穀賣渡推進協議会發足

町長 出納立会人の検査は考えているが、特別調査委員については考えている。町長 出納立会人の検査は考えているが、特別調査委員については考えている。...

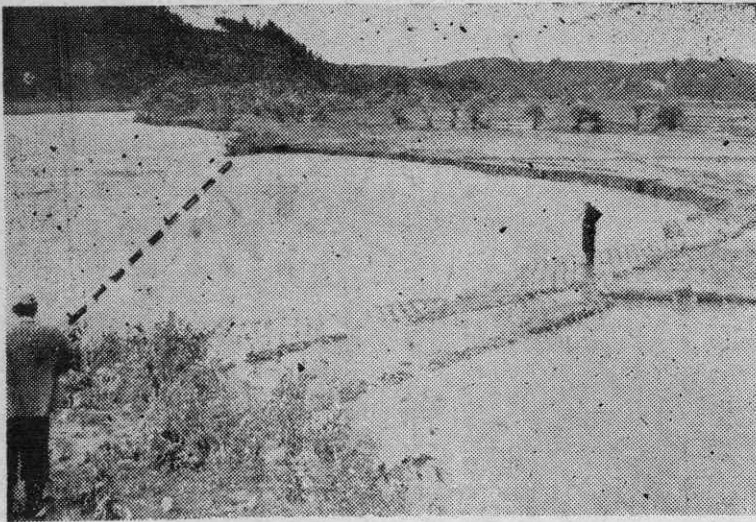
米穀賣渡推進協議会發足

町長 出納立会人の検査は考えているが、特別調査委員については考えている。町長 出納立会人の検査は考えているが、特別調査委員については考えている。...

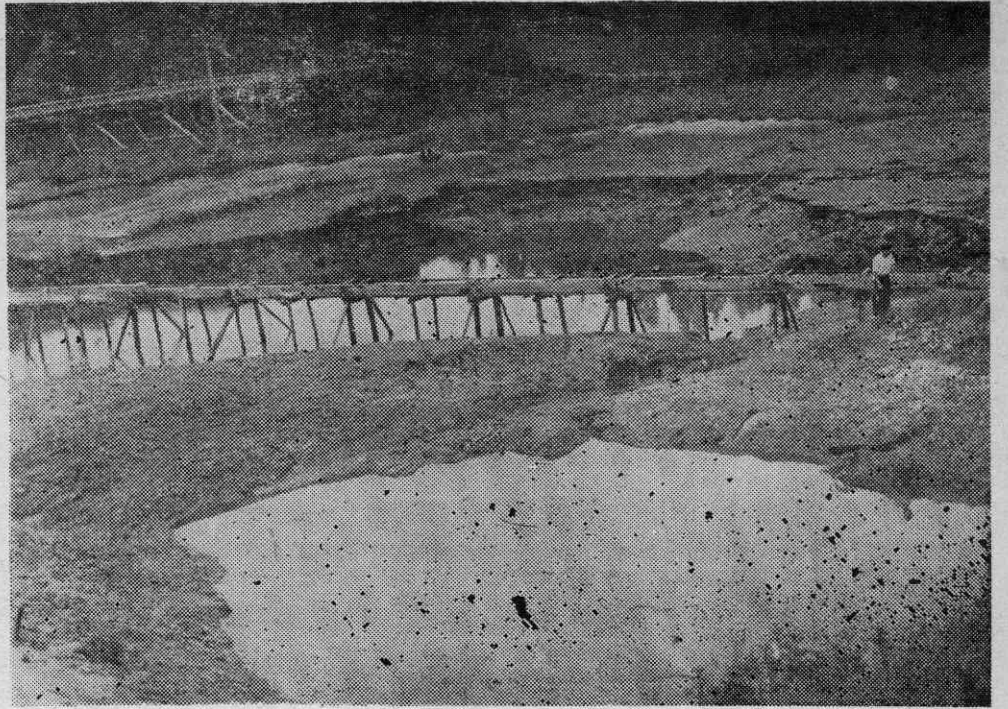
米穀賣渡推進協議会發足

町長 出納立会人の検査は考えているが、特別調査委員については考えている。町長 出納立会人の検査は考えているが、特別調査委員については考えている。...

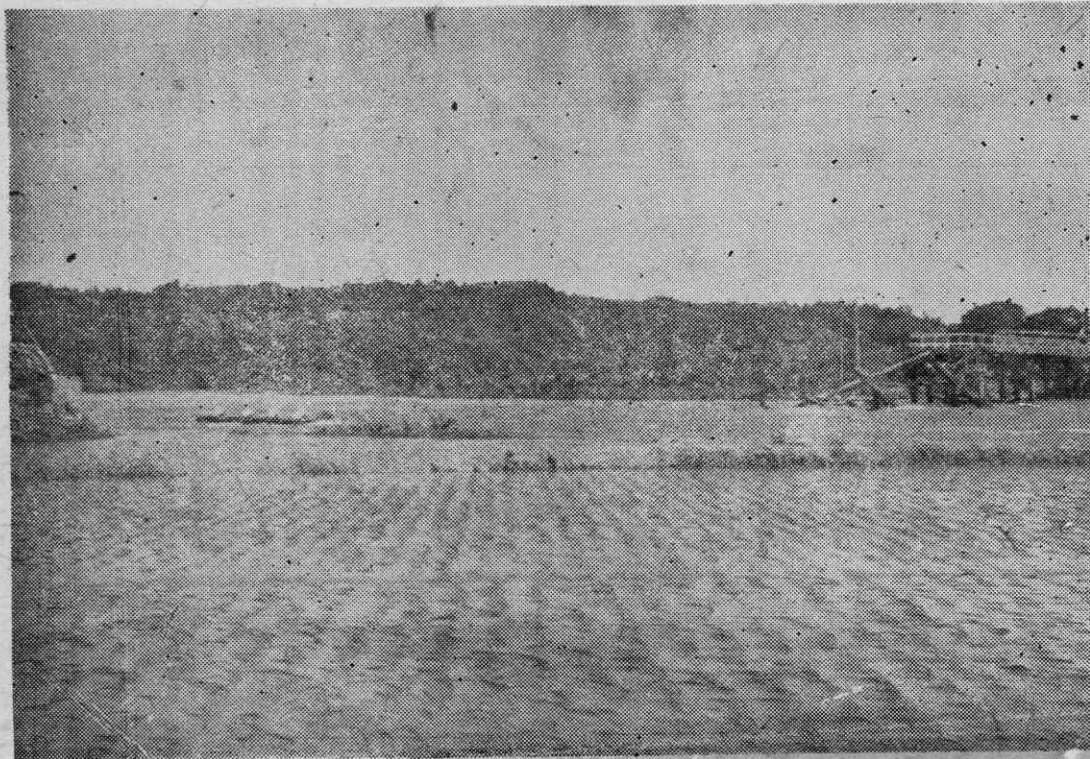
わが町の惨状



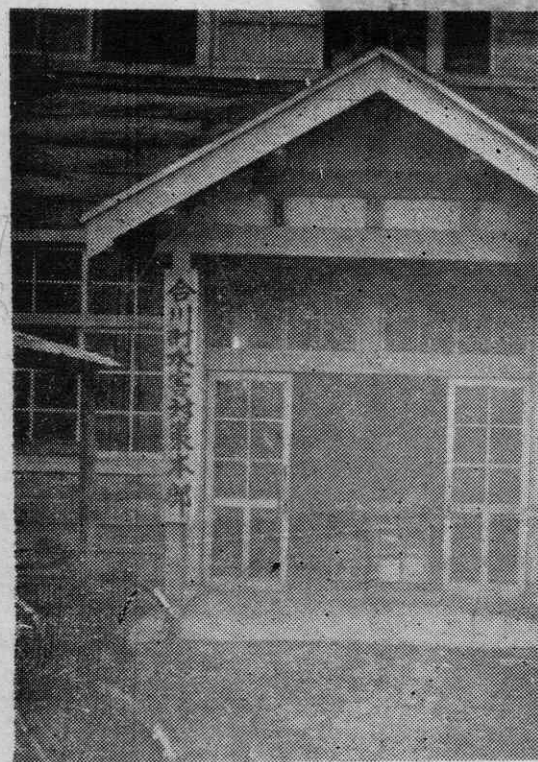
欠壊した耕地を凝める人々……。
流れ去つた美田は永久に帰つては来ない……三木田地内……
(点線は流失した部分)



水魔の暴れ狂つたあとの耕地の惨状。
至るところに写真のような泥沼が出現して当時の水流の激しさを物語っている。
——雪田部落——



今春竣工したばかりの県道「芹沢橋」はその三分の二以上をもぎ取られてしまつた。またこの下流の耕地は完膚なきまでにたゞきのめされて見るかげもない——三里部落より望む——



一役場に設けられた対策本部一



堤防の破損はいたるところにあり、むしろ完全な堤防が破損箇所より少なくなつたと云う状況である。——阿仁川沿岸——



折柄工事中の「阿仁川橋」も増水のため流失の危険にさらされたが辛うじて流失を免れた。——二十五日夕刻——李岱地内——

水害被災者に愛の手を!!

一大たすけ合い運動展開

今回の水害による被災状況は、殊に農が個々にお願ひに廻る予定況は予想外に大きく、その地関係の被害が甚大なため対策のため当局は東奔西走、今秋には田畑の流失、埋没してその復旧に当つてゐる等によつて保有米さへ持ちが、合川町民生委員会では得ない農家も出ることが予このほど緊急委員会を招集、想されるので、この運動に「町内たすけ合い運動」対する各方面の援助が期待を展開し水害によつて被害されている。

伝染病予防の消毒実施

先ごろの水害により本町では六五戸の浸水家屋を出したが、民生課では二十九日より三日間にわたりこれらの家屋の消毒を実施した。係では洪水後は伝染病が発生し易いので特に注意するように望んでいる。

「たすけ合い運動」は町内の青年会、婦人会その他たすけ合いの協力のものに行われることになり、関係者は町民各位の社会共助の精神にもとづく絶大な協力を望んでいる。

なお、近日中に各関係者

水魔に襲われた

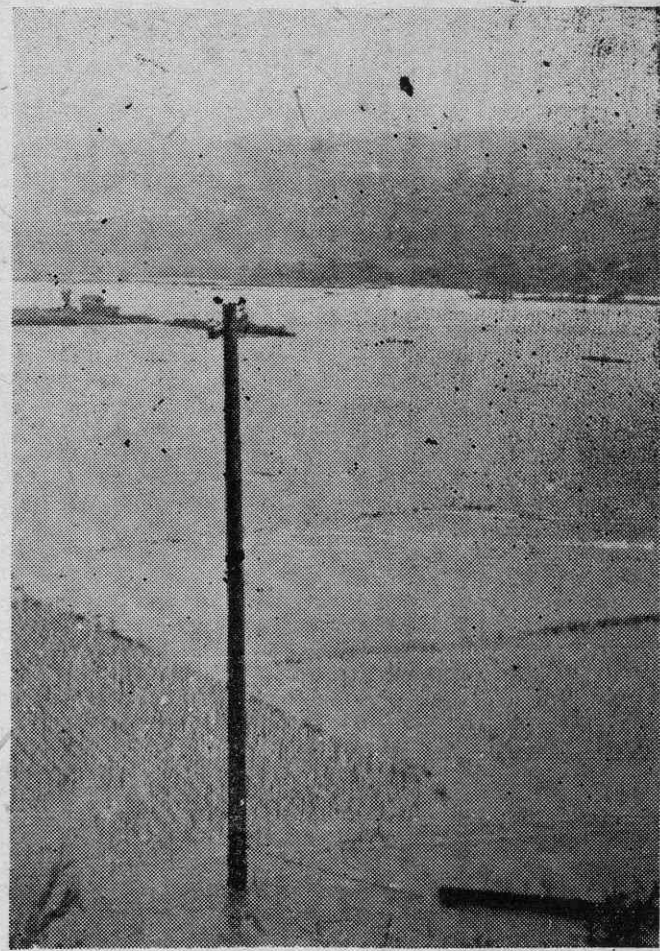


表土をさらわれた耕地は再耕起され、一尺もある苗（最後には陸稲苗も植えた）が植付られたが無肥料の硬土であるため収穫は殆んど期待できない…単なる農民の気休めと果てしなき復興精神のあらわとも云えよう…木戸石地内



土砂に埋れた苗を必死に手で掘り起す農婦。—木戸石地内—

浸水が三日、四日にも及べば退水後の稲苗は全部が腐敗してしまっている。
—六月二十五日夕刻、新田目、羽根山地区内—



これからの稲作について

今回の水害は各地に大なり小なりの被害をもたらした。そこでこれからの稲作について、米内沢地区農業改良普及事務所においてみよう。

- ① 水害地の稲の手入れ
② 退水後病害のおそれあるイ、稲が出来過ぎの状態を呈し、葉の色も濃厚でたれ下がり、手ざわりも軟いとき。
③ 葉の繁茂が甚だしく、下葉にイモチ病の病斑を認めるとき。
④ 穂肥の時期の天候が悪の場合。⑤ 裏作予定田について
⑥ 病害虫の防除について
⑦ 早期発見につとめ、適期防除につとめることが肝要である。⑧ 常発地帯では病菌侵入期(七月下旬)は浅水、病菌進展期(八月上旬)中病菌の侵入期から進展初期に七〇日位へだてセレンサン石灰粉剤(反当三〇四キログラム)を二、三回、葉鞘部、地際に向ってかける。⑨ 稲熱病の発生は、稲の生育と天候をにらみ合せて実施するようにならねばならない。
⑩ 穂肥をやつてよい条件
⑪ 基礎量から計画的に穂肥の分量を差し控えておいた場合で、稲の生育が健全であり、幼穂形成期頃に至つて葉の色がやせ、あせ、手ざわりも剛く葉先が立っている場合。
⑫ 穂肥をやつて悪い条件

水稻に赤信號!!

稲熱病発生の予想と対策

現在の稲の生育状況は、平年に比して草丈高く、茎数少なく生体重も少ない模様で徒長軟弱の傾向を示している。

原稿募集!!

- 一、論文、町民の声、随想、詩、短歌、俳句、川柳、コント、小中学生作文等いずれでもよく、紙上の匿名は自由ですが、原稿には必ず住所氏名を明記すること。
- 二、締切りは特に設けず。
- 三、宛先は合川町役場総務課広報係へ。
- 四、その他原稿は一切お返ししません。規定に反したものは採用しないことがあります。取捨については係へ一任願います。

黄化萎縮病発生

発見次第抜取りを

植付直後浸冠水した田地に「黄化萎縮病」が発生して来ました。(浸冠水後二、三週間うちに現われるものである)今のところ李岱地区に多いが、現在では薬剤による防除方法はないので発見次第抜取りを要するよう心掛けることが大切である。

特殊地帯を除いては「葉イモチ病」によつて決定的な被害を受けるという地帯は殆んどないから、よく病状の進み方をみてその時の稲の状態(たとえは長稈少けつや短稈多けつの場合)を危険と、爾後の天候(たとえは降雨日数が多く、ムレムレよな場合は危険)をよく考慮に入れて、発生盛期の山が予想される一週間位前から防除を開始して遅くはないのである。葉イモチ病の防除は、あくまでも現状を見てから薬剤撤布時期を決定すべきもので、県北地方では七月末に重点をおいてもよいと思う。

(対策)

早期発見につとめ、発生田には速かに薬剤撤布を行うこと。水害地には特別な注意が必要で、薬剤撤布のほかに七月中旬下旬の蔓延は水害を受けやすい地帯と異つた病状を呈することも考えられる。たとえその時期に好手になつたとしても、防除体制をゆるめないこと。水害により肥沃な土砂の沈積したところでは、追肥の施用をひかえること。下旬以降の好天により、灌漑水の不足などから早期落水を来たす結果、稲熱の発生を容易にすることもあるので注意すること。また、新たに苗を植替へたところは発生危険も大きい。

薬剤の撤布は晴れた日に出るだけ均一に、そしてやせ、少な目にし、次回の撤布を早目に行うよう心掛けることが大切である。

未曾有の水害に直面して

町長 畠山 義郎



主に小阿仁久橋架替の陳情をしまし川水系の水害のため、農作物、堤防、橋りょう等を通じ約二億四千万円の被害をうけました。

六月二十五、六の二日間私は全く孤立化した役場に泊り、水防関係と被害の情報を各部局および地方事務所に連絡がとれ次第その惨禍の大きくなることに心痛しておつた次第です。

二十五日夕刻、新田目幹線水路の水防活動状況と芹沢橋流失直後の現場を廻り根田橋も亦流失する以外には全く交通が途絶え、その後そのまゝ他出することが多くなり、親しく現場の人達と接する機会がなく誠に残念に思つております。

二十六日は昨日の天候とは打つて変わったような晴天となり、先に招集していた町議会の議員がボツボツ参集し、災害のため通行が午前中出来なかつたにもかゝらわず、午後一時に至り町「急施案第一号」を以つて水害対策について町議会の議決を得、水害対策本部を設置しました。

水害対策に關して私の要望に應じ、町議会に当日提出議案に關して町長が議会の一般質問に應ずること以外の日程を組まないのみならず、翌二十七日は休会していただきました。その為二十七日は災害の実態把握のため町職員係団体が心残りなく活動出来たと共に、私と松橋議長は陳情書を携えて県庁各部課に陳情しました。

多忙な知事も話ができ災禍の大きなことを認識してもらおうと共に芹沢橋の永

再開され夕刻終了したところ、県議会土木委員一行の調査団が来郡したので強引に日程を変更させ、本町の被害激甚地である南地区を認識させたような次第であります。翌七月一日午前地方事務所、農業団体に陳情しました。が、県耕地課谷岡技師一行を約一週間の予定で南地区に来ていたまゝでした。町議会経済委員一行も農地農作物等の現地調査を行い午後一時から開かれた町の水害対策協議会に報告があり、水害対策本部として土木、農地、農作物、林務民生等を通じ、上級機關に対する基本的な援助要請対策を組むと共に、町道等の緊急を要する個所の町費支弁、税の減免等を検討し、又町債を起して根本的な復旧にとりかゝること等を協議しました。

二日、予ねて招集しておりました農協連絡協議会準備会(町内四農協の組合長専務が集合)に出席し、水害、農地復旧、作物の關係營農資金の導入等について具体的な方針を暗示して、全町一丸となつて立直るために正式に協力を要望しました。三日、秋田市に行き県町

村会及び折柄本県の災害実態の調査に来た衆議院農林委員、建設委員に水害陳情をいたしました。県町村会に於ては知事と約二時間に亘り町長十数名とともに会談し、水害対策に關して意見の交換を行いました。この日知事は、私の發言を克明にメモして万全を期すことを約束して呉れましたが、その要旨は次のようなものであります。

一、合併町村の建設計画は普通でも合併前の十分の一位しか財源を与えないにもかゝらず、今次の水害に對して国県が積極的な援助をしなかつた場合は、法律に規定された新町村建設はひとつも出ないし、又、災害対策費を工出来るはずはない。二、合川町に高率補助を適用してもらいたい(普通は土木、耕地共に事業は半額程度の地元負担が伴う)災害激甚地町民も町当局も負担に耐えないかつと助成率を高めて戴きたい。三、法律に定める土木、農地の復旧の適用から除外された災害の面積が極めて多いので營農資金(農協経由)のあつせんを大中にしていただきたいと共に水害後の病害に對して徹底した指導援助を要望したい。

この日、北秋田郡町村会(鷹巣町長)と二人で、郡地方事務所各課、郡農業団体、郡町村会に對し、詳細な陳情をいたしました。が、日曜日にもかゝら(災害箇所個々に)な

の各氏と共に、米内沢土木出張所、阿仁川改良事務所、郡事務所各課、郡農業団体、郡町村会に對し、詳細な陳情をいたしました。五日も前日と同様のメンバーを以つて県庁及び県議会の、県農業団体等に陳情し、この二日間の陳情により町議会の決議、農地委員会及び土木委員会で論議の際に提出した資料が大きく採り上げられて私どもは心強く感じております。

ことには六月三十日に視察のため来町した小松武文、渡辺重秋等の議員は県北出身でないにもかゝら、相当に努力を傾けて下さりました。又、農地の災害調査にも人員を派遣してもらいたいこと、高率補助を適用してもらいたいこと等に關しては、川上農地部長が、体があき次第現地を視察し、激しませました。同部長一行は九日に來町した。町議会の打合せを行い、農地復旧の陳情に關する詳細の打合せを行い、行は六日以降も、関土木委員は阿仁川改良事務所、米内沢土木出張所へ、桜井経済委員長は地方事務所農地課及び郡土地改良協会等との連絡を密にし、災害地個々に亘る陳情を継続することを申し合せ散会しました。

六日は、地方事務所、農地課長、斎藤技師、郡土地改良協会から金会長、中林技師、農協連から寺田中央会、佐藤信連、工藤経済連の各支所長一行が現地視察に來町したが、南支所に於いて同地区を中心として西、北地区の代表が陳情しました。

農地復旧が今後の農家と農協、町の財政に与える影響が大きいことを自ら力では出来得ないことを主張し、農地復旧を上小阿仁村と併せて県営工事にしてもらいたい陳情を主体に話

が進められたが、明日でいとは非常に活動の基礎となつたわけですが、水害後は殆んど空っぽの状況なので早急に補充すべく目下その方にも手配中であります。又、恒久対策として、阿仁川改修工事の促進、小阿仁川の「原始河川」から脱脚が叫ばなければならないまことに極端に蛇行している小阿仁川上流は、綴子川や前山川のような思い切つた改修が必要と思われ、耕地の潰地等の關係で問題も多々と思つて、堤坊や橋りょうの復旧に關しては殆んど採択された訳であります。一日も早く着工されるように強力な陳情を継続しなければならぬと思つております。少破損については自力で復旧しなければならぬと思われ、農地災害の復旧は土地改良区、農協等が事業主体となり施行されるのであり、国からの助成金に依りては、その規格によつた工事をしなければならぬので、よく事業主体を密にして作業を進めていたゞきたら、暑さと金欠病?になやま

今後に於ける稲の病害虫の発生は必至とみられます。その管理に關しては、早期発見、早期防除に万全を期してほしいと存じます。とにか、今次の水害は、町の町民所得に大なる影響を与え、この痛手は相当の年月を経なければ完全な復興は望み得ないと思われ、又、營農資金、災害復旧資金、米穀出荷代金の關係では農業団体に与える影響も深刻なものが、私どもは一切の町内各機關と協力し合つて、災禍を克服したいと存する次第であります。(七月十日早朝記) ※水害対策についての具体的な助言、此正を支所、出張所長各課長又は直接

に申出下さい。出来得る限り御協力いたします(遠路わざわざでなくても手紙或いは伝言で結構です。)

あとかぎ

△災害は忘れた頃にやつて来る……

△六月末の町議会が五千二百万円予算が成立したのも、今後の災害復旧関係予算も合せたらもう一つ、老大な額になるだろう……

△財政事情窮迫の折柄大変なことになったものだ。災害復旧対策のため町首の温まるべきでない。町民一丸となつて復興に邁進しよう……

△土用も来ないのに連日、暑さや雨が続く……

△稲は順調な生育を……

△「いれいれ」とコボシといわれ、残つた稲だけでもスクスクと育つて呉れ、ばいばいと折つてやまない……

△暑さと金欠病?になやま……

△備ができた……

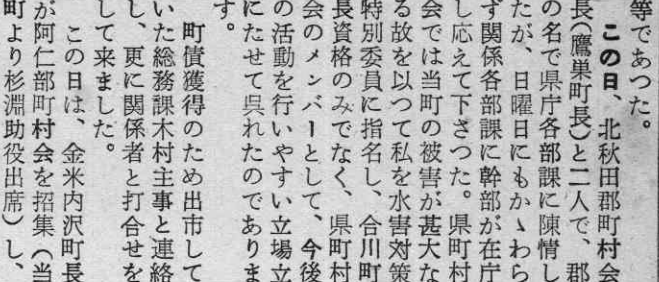
△自立促進貯蓄運動

○収入の一分は貯蓄しましょう!!

○今年こそ貯蓄で地固めを!!

6月15日……7月31日

秋までには完成 東中学 建築工事が進む



秋までには完成 東中学 建築工事が進む

合併に当り中学校を二校とし、二校とするか、論今上棟式を了えた第二期の中心となつた合川東中工事も近日中に完成し残り

の第三期工事(講堂)も近く入札の上今秋まで全工事を完了する予定であり、総坪六八四坪のモダンな校舎が上大野駅附近に出来上る。写真は工事中の東中

同校建築工事は昨年六月も招致して奥相を把握して三十日、町議会本会議が

が、既に第一期工事(管理学校舎)